

【別紙様式】

真岡市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	健康増進施設「井頭温泉」燃料費高騰対策緊急支援事業		
総事業費 (千円)	15,932千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	15,932千円
事業概要	<p>①目的 健康増進施設「井頭温泉」の指定管理者に対し、コロナ禍において高騰する燃料価格相当分に対する一部費用を助成することで、経営安定化を図り、利用料の値上げ等による市民への負担を抑止するものであります。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 【A.電気料金（R3.4月とR4.4月を比較）】 差額6.03円×従量201,922kwh/月=1,217,589円 1,217,589円×12ヵ月=14,611,068円 【B.重油料金（R3.4月とR4.4月を比較）】 差額16.5円×従量80,000L/年=1,320,000円 【合計A+B】14,611,068円+1,320,000円=15,931,068円</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者：鬼怒公園開発株式会社 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 健康増進施設「井頭温泉」は、市民利用7割の大型施設であり、湯沸かしなどに大量の燃料を使い運営している。この度の燃料費高騰を受け、年額16,000千円程度の燃料費増額が見込まれており、このままでは市民利用料の値上げをせざる得ない財政状況となってしまう。そこで増額分相当を支援することで、利用料の値上げを抑止し、市民の健康増進の機会を確保するため、管理者である鬼怒公園開発株式会社を交付対象者として、支援金を交付する。</p> <p>④期待される効果 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、多くの市民利用のある温浴施設を変わらず提供することで、市民の健康増進を推進することができる。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>健康増進施設「井頭温泉」燃料費高騰対策緊急支援事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う利用者の大幅な減少があり、令和4年4月の利用者数はコロナ前の令和1年4月と比較し60%と厳しい状況であると同時に、施設運営の為に多くの燃料等を使用する当施設は、令和4年4月の燃料費が、前年同期比130%と高騰しており、このままでは、事業の継続が困難な状況に陥っている。</p> <p>当施設指定管理者である、鬼怒公園開発株式会社を交付対象者として支援金を交付し、事業の継続を支援する本事業は、新型コロナウイルスの感染拡大及びコロナ禍における原油等高騰の影響を受けている地域経済の支援を通じた地方創生に資する事業に該当するものであり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		